

# 自殺対策基本法20周年に向けて： 学際的検討と 現場の経験を踏まえての政策提言

## 趣旨

日本の自殺死亡率は1998年に急増し、2006年の自殺対策基本法による施策の効果もあって2009年から減少に転じたが、2016年以降は減少が鈍化している。また、近年の小中高生の自殺の増加は大きな社会問題である。

自殺関連行動は、個人的、社会的、心理的、文化的、生物学的そして環境的因素が互いに絡み合う複雑な現象である（WHO、2014）。自殺死亡の更なる減少には、学際的研究と地域、現場の経験の積極的対話が必要である。共同研究集会のプログラムを、(1) 自殺対策とは何か、(2) 自治体の主体性・独創性を活かした自殺対策の推進、(3) こどもの自殺予防、(4) 政策提言のための円卓対話とし、その成果を政策提言にまとめる。

2026年

1月30日(金) 10:00-17:00  
1月31日(土) 9:00-16:00  
**統計数理研究所** (東京都立川市緑町10-3)

開催方法：現地及びZoomミーティングのハイブリッド開催

定員：現地50人／Zoomミーティング200人

参加費：無料

2025年度 共同研究集会「自殺対策基本法20周年に向けて：  
学際的検討と現場の経験を踏まえての政策提言」企画委員会

委員長：竹島 正（研究代表者／大正大学）

委 員：大塚 尚（東京大学）、岡 檻（統計数理研究所）、小川有閑（大正大学）、  
勝又陽太郎（東京都立大学）、小出直史（大阪大学）、小高真美（武蔵野大学）、

高井美智子（埼玉医科大学）、高橋邦彦（東京科学大学）、椿 広計（情報・システム研究機構）

協力：一般社団法人自殺予防と自死遺族支援・調査研究研修センター(CSPSS)／一般社団法人全国自死遺族連絡会  
一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会

令和7年度科学研究費助成事業基盤研究(B)「自殺対策における共創的(Co-creative)  
ネットワークの構築を目指した実践研究（研究代表者：小高真美）

後援：一般社団法人日本公衆衛生学会／一般社団法人日本自殺予防学会／一般財団法人日本公衆衛生協会  
一般社団法人エッグツリー・ハウス／全国精神保健福祉センター長会  
全国保健所長会／全国精神保健福祉相談員会

お問い合わせ：共同研究集会事務局

cspss.kenshu@gmail.com

参加申込は  
こちらから



<https://forms.gle/NQSJ2UvrMZUrSEwU6>

1 日 目 ( 1 月 30 日)	10:00-10:10	開会の挨拶 竹島 正 (研究代表者／大正大学 地域構想研究所 客員教授)
	10:10-12:10	<b>(1) 自殺対策とは何か</b>
	10:10-10:30	講演①「自殺対策の20年－私たちはどこに向かうか」 竹島 正
	10:30-11:00	講演②「わが国における自殺の現状と自殺対策」 富原 博 (厚生労働省社会・援護局 総務課 自殺対策推進室 室長補佐)
	11:00-11:30	講演③「自死遺族当事者から見た自殺対策の20年」 田中幸子 (一般社団法人全国自死遺族連絡会 代表理事)
	11:30-12:00	講演④「自殺予防に資するデータの利活用」 岡 檀 (情報・システム研究機構 統計数理研究所 医療健康データ科学研究所 特任教授) 座 長：椿 広計 (情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 副施設長) 勝又陽太郎 (東京都立大学人文社会学部 准教授)
	13:00-17:00	<b>(2) 自治体の主体性・独創性を活かした自殺対策の推進</b>
	13:10-14:00	自治体の実践報告①「自殺総合対策の地域展開における留意点－長崎県での実践を中心に－」 大塚俊弘 (長崎県病院企業団 長崎県精神医療センター 院長)
	14:00-15:00	自治体の実践報告②「八尾市における自殺対策－“ほっとかれへん”を合言葉に－」 友田寿幸 (八尾市保健所 保健予防課長)
	15:00-15:40	自治体の実践報告③「港区における自殺対策」 北野澤昂 (港区みなど保健所 健康推進課長)
	15:40-17:00	特別講演「包摂社会の実現と地方自治」 片山善博 (大正大学地域構想研究所 所長) 対談「地方自治と自殺対策」 片山善博 × 南島 和久 (龍谷大学政策学部 教授) 全体討論 指定発言：長坂匡哲 (春日井市地域共生推進課 課長) ほか 座 長：齋藤真哉 (埼玉県立精神保健福祉センター主任) 中村征人 (愛知県春日井保健所課長補佐)
2 日 目 ( 1 月 31 日)	9:00-12:30	<b>(3) 子どもの自殺予防</b>
	9:10- 9:40	講演①「子どもの自殺対策－子ども家庭庁の取組を中心に－」 星 匡哉 (子ども家庭庁支援局総務課自殺対策室企画官)
	9:40-10:10	講演②「公衆衛生の立場から」 野村恭子 (秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座 教授／ 講演③「精神医学の立場から」 日本公衆衛生学会メンタルヘルス・自殺対策委員会 委員長)
	10:40-11:10	太刀川弘和 (筑波大学医学医療系災害・地域精神医学 教授)
	11:10-11:40	講演④「子どもの自殺の増加傾向と要因分析」 渋井哲也 (フリージャーナリスト)
	11:40-11:55	研究報告・活動報告①「若年層の自殺リスクはなぜ高いのか－自殺意識調査による検討－」 高橋義明 (明海大学経済学部 教授)
	11:55-12:10	研究報告・活動報告②「児童福祉の現場から」 田邊総男 (相模原市こども・若者未来局 こども家庭支援部児童相談所 南相談支援課 課長)
	12:10-13:00	全体討論 指定発言：村上 龍 (千葉科学大学危機管理学部 保健医療学科 助教) ほか 座 長：小高真美 (武藏野大学人間科学部 教授) 高井美智子 (埼玉医科大学医学部 客員講師)
	13:50-15:30	<b>(4) 政策提言のための円卓対話</b>
	14:00-14:30	2日間の振り返り
	14:30-15:30	小出直史 (大阪大学感染症総合教育研究拠点 科学情報・公共政策部門 特任准教授／ 円卓対話 大阪大学社会技術共創研究センター (ELSIセンター) 兼任教員) 座 長：大塚 尚 (東京大学相談支援研究開発センター 准教授) ほか
15:30-16:00	(5) 追悼と感謝	
	田中幸子	
	小川有閑 (蓮宝寺住職／大正大学地域構想研究所 客員講師) 山口春奈 (一般社団法人エッグツリーhaus)	
16:00-16:10	閉会の挨拶 竹島 正	

(2)(3)(4)の冒頭に座長による10分間の進行説明があります